



素描-II

イラストレーション
2003-2004
おじまらりか

oica
2004

まながき

コピー用紙に描きためた、ボールペンによる素描です。ヌードのデッサンを、繰り返しボールペンで描きなす事によって自分の目指している線を磨いてゆきます。

前作よりは、線が良くなってきていると思うのですが、まだまだです。

もう少しこの作業を続けて、思うような線を、自由に描けるようになりたいと考えています。

未熟な作品集ですが、お時間あったら、見てやってください。

作品集の発表は、私の個展のようなものなのです。

多くの方に見ていただけると思います。

二〇〇四年四月
おじゃりか



もくじ

まえがき

ヌードデッサン

バリ

おんなのひとりごと

猫や花

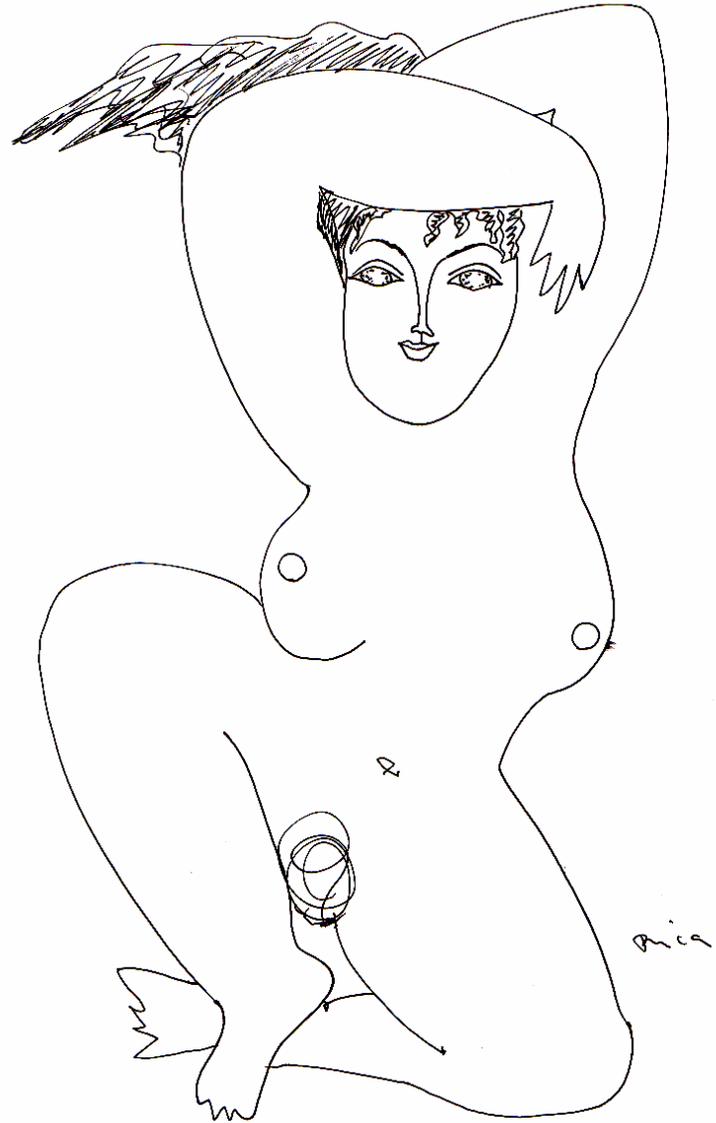
抽象画

おわりに

電子画集について



ヌード
デザイン



モデルの頑張り

『どんなポーズがいいですか？』

彼女が尋ねる。

『自由でお願いします』

ところが注文を出す。

そうすると、

彼女は解き放たれた

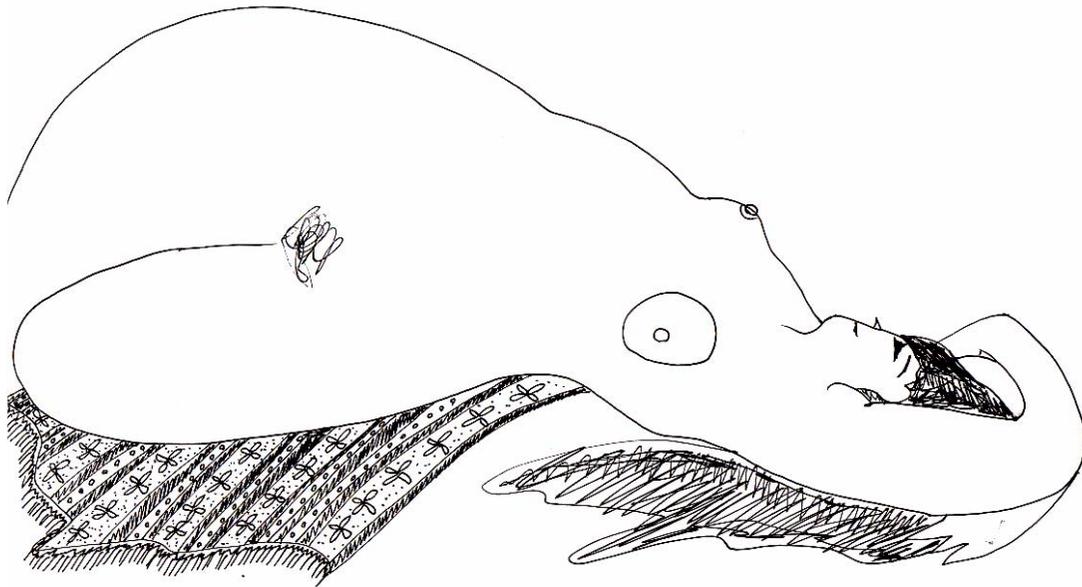
鳥のように自由になり、

空にはばたいたポーズをする。

今日も。

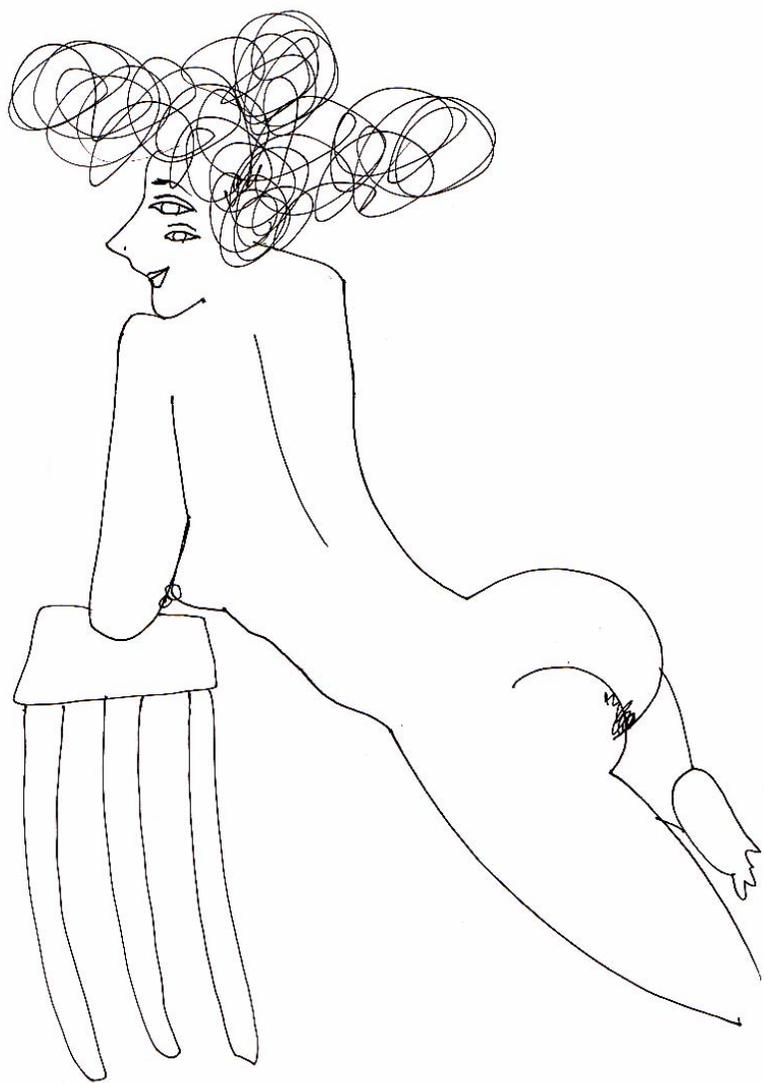
セイウチのように

彼女は北欧の女みたいに
デップリと床に横たわると
セイウチのようなシルエットで笑う。
彼女の時間は一瞬静止して
そうしてまた二十分が経ち、
彼女は人間に戻るのだった。



ピカツな女

ピカツの画集を見る。
ゆがんだ顔が笑う。
女は、どこことなく淋しげに、
一瞬の愛を勝ち得たやふな、
満足そうな笑みも浮かべて、
そうして背中を向ける。
三本足のイスと、
彼女は一体となり、
コピー用紙の中
入り込んでくる。





痩せたモデル

骨ばった彼女は、

顔色が悪い。

静止を余儀なくされるその時間、

益々顔色を悪くする。

『一回ポーズを緩めますか？』

などと聞いても

ポーズはそのまま継続されて

彼女の顔色は、

益々悪くなるのだった。

次のポーズ

三十分に戻り、
十分間の休憩があり、
彼女は、煙草を吸いに行く。
春風のようなガウンをまとい、
インテリ風の眼鏡をかけて
喫煙コーナーの
オヤジ共に混じってゆく。
そうしてまた、裸になって
次のポーズの中で
時間は止まる。

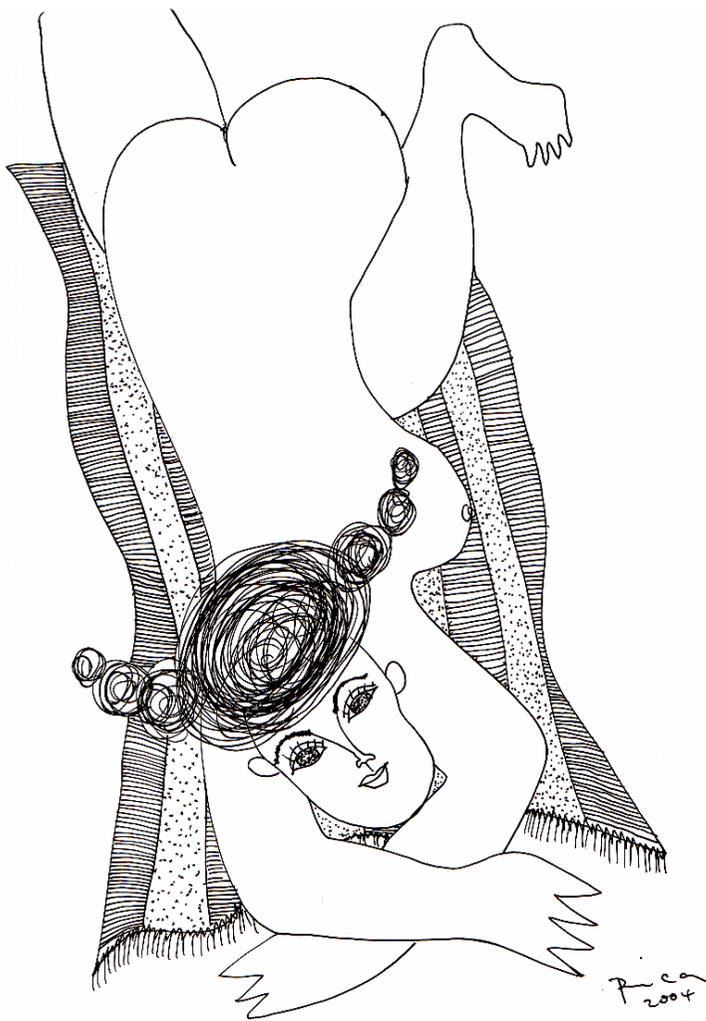


仏様のやぶに

彼女は頭に手をやり、
少し体を斜めにしたところで止まる。
同じポーズを取り続けると、
太ももから下が
真っ赤に腫れてくる。
彼女の涼やかな顔は、
何事もなかったように
一点を見つめたきり
微笑んだまま
音の無い時間は流れてゆくのだった。



色々な角度から



沢山人が集まるクローキー

場所が狭くて

移動したりできないから、

変な構図のポーズを

そのまま描かなきゃならない。

何度描いても

上手くかけないポーズと格闘して

何枚も紙を無駄にして

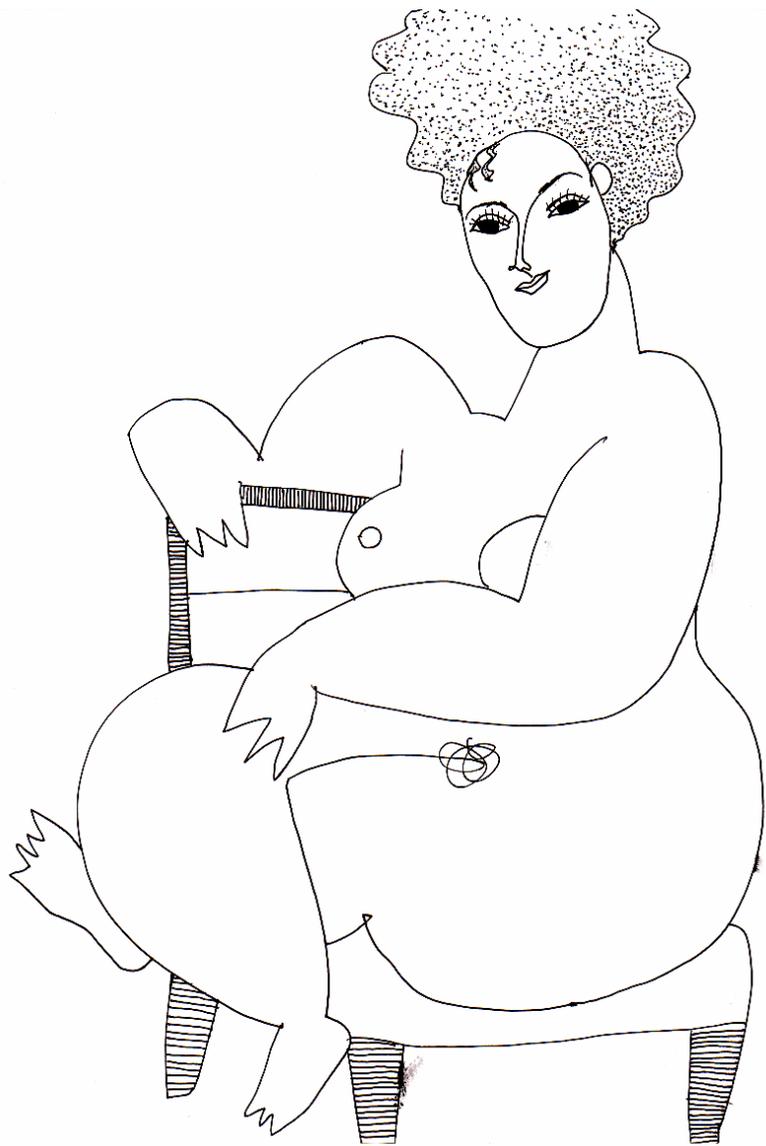
そうして、

描けないまま無常のベルが鳴り

情けない自分だけが取り残されている。

人間ソファ

彼女は今度は椅子に座る。
足を折り曲げて、
小さいポーズを取る。
大きな体は
イスからはみだして、
ギンギンときこむ。
顔の位置をキメると、
薄く微笑んだまま
彼女はやはらかそうな
ソファとなつてゆくのだつた。





枕は知っている

『今度は、枕を抱えてみて』
私がそういうと、

彼女は枕を膝の上に乗せて、
頬杖をつく。

物憂げな顔をして、

きつと何かを思い出している。

彼女が何を思い出したのか

枕は

『知っています』とつぶつぶで、
外の小鳥がピピピと鳴いた。



ヴィーナス

大柄な彼女は立ち上がり、
ぐらりと体を曲げた位置で静止する。

たった五分のポーズ取りだけど、
ほんの短い間

ヴィーナスになり、

彼女は一枚の紙に記録されてゆく。

私はこんなヴィーナスを
何枚も描きたいと思う。

石膏デッサン

インピットを使わないので、
濃淡が
作れないままである。

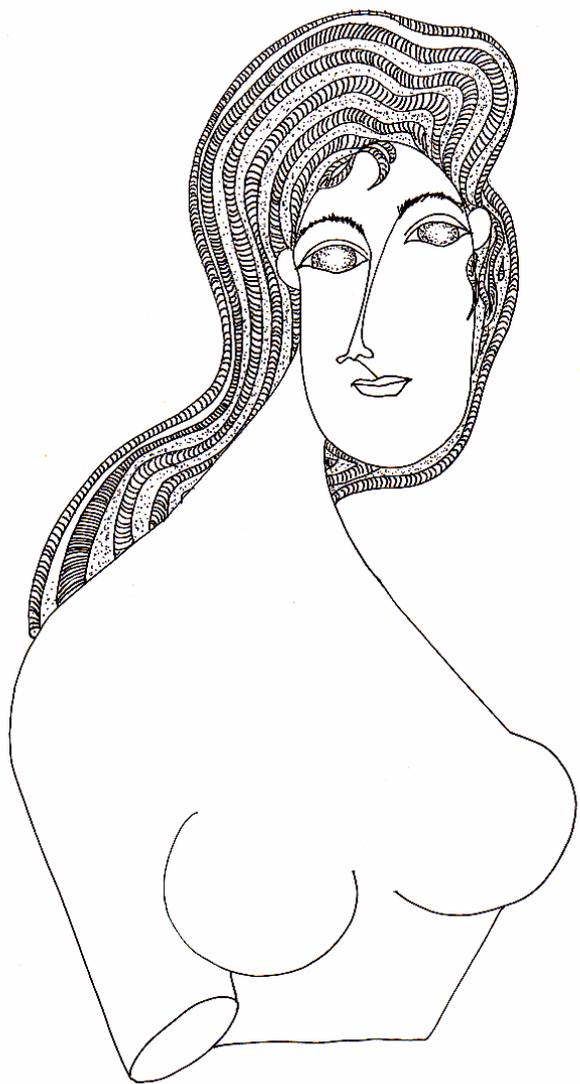
濃淡の無い
線だけの素描

石膏の女は
いつも

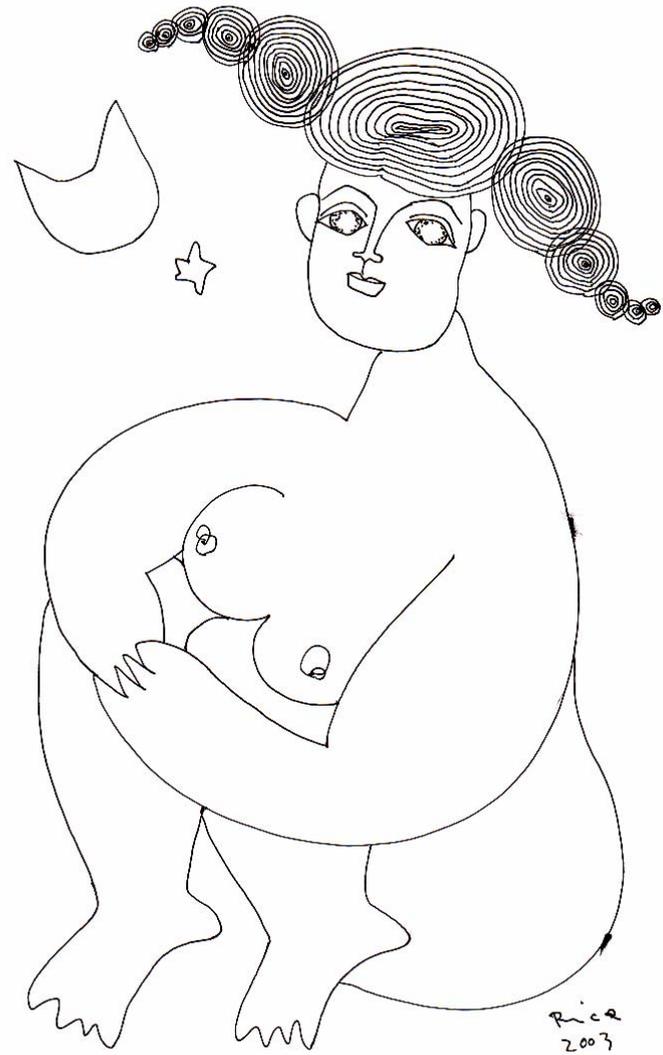
全く似ていなくて

私はまた

ガツカリさせられるのだった。



月と金星

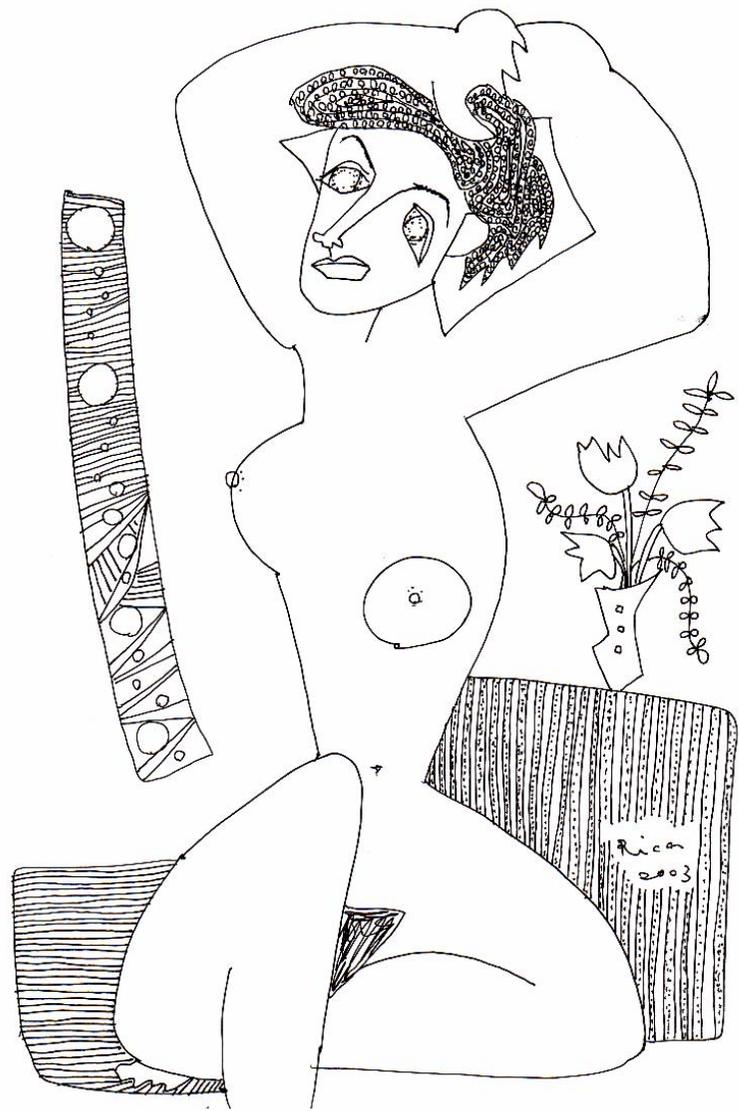


夕方から大きな月が
間近に迫るころ、
金星もやってきてくれた。
一番星は
キラリと光って
願い事を聞いてくれそうな予感。
願い事はいつも同じ。
そうしてまた
夜や朝がやってくる。

カーリーヘア

強くウエーブした髪を
更に爆発させて
彼女はポーズを取る。
アーティストよりも
一段高い場所に立ち
更にアゴをツンと上向きにして
ほんの少しの間
私たちを見下ろしている。
それは、ローマの街を見下ろす
神々の彫刻みたいに。





プロ根性

今日は珍しく、

アーティストがリクエストを出す。

『アタマの上に手を置いて、

体をねじってくれませんか？』

足、お尻、片方の手や背中など、

三点で支えると、

ポーズ取りはかなり楽になるのだが、

この姿勢のまま、あと2時間半も

止まらなくちゃならなくなった。

彼女もプロ根性で勝負する。(休憩はあります)

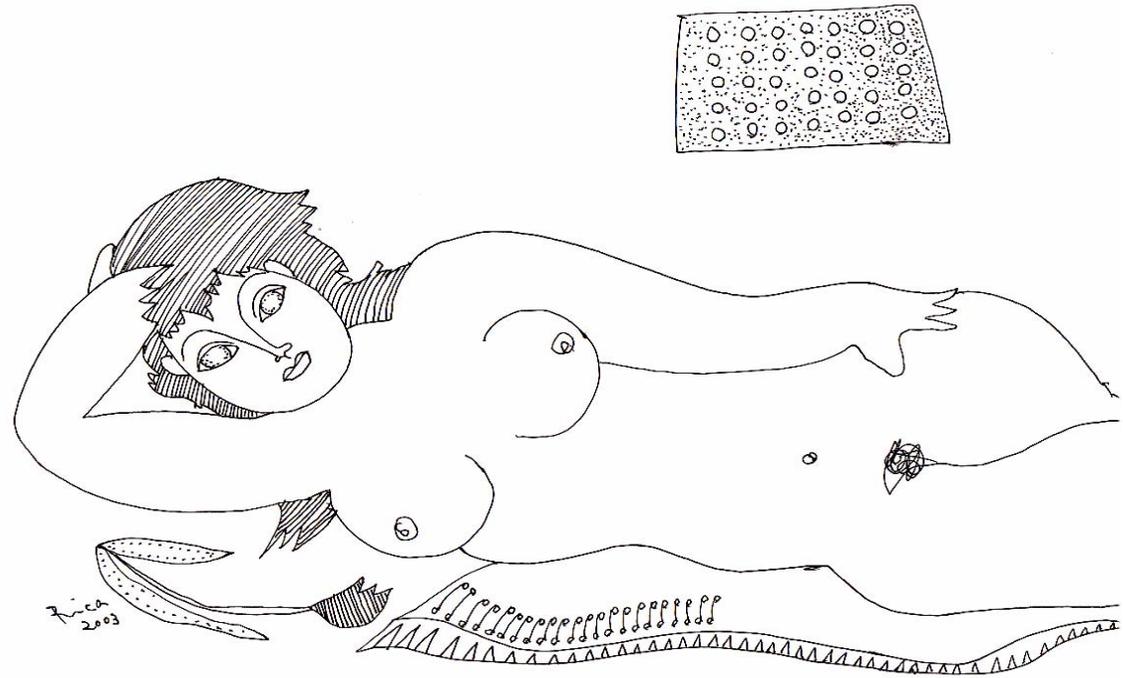
シンプル

殺風景な彼女の背景に
花模様を描いてみる。
少しだけ
華やかな気分になり
彼女は笑い出す。
女というのは
ホントウにシンプルで
憎めない。



裸のマハ

ゴヤの部屋で
裸のマハを見る
天使のように
透明な肌を持ったマハは
永遠の天使
横たわれれば、
女はみんな
マハになる



キユー・ポッド

『なんでヌードなんだよ?』

ヌードデッサンを描き続ける私に、
そう質問する人は多い。

理由なんてなかった。

『ヌードデッサン会』というのが、

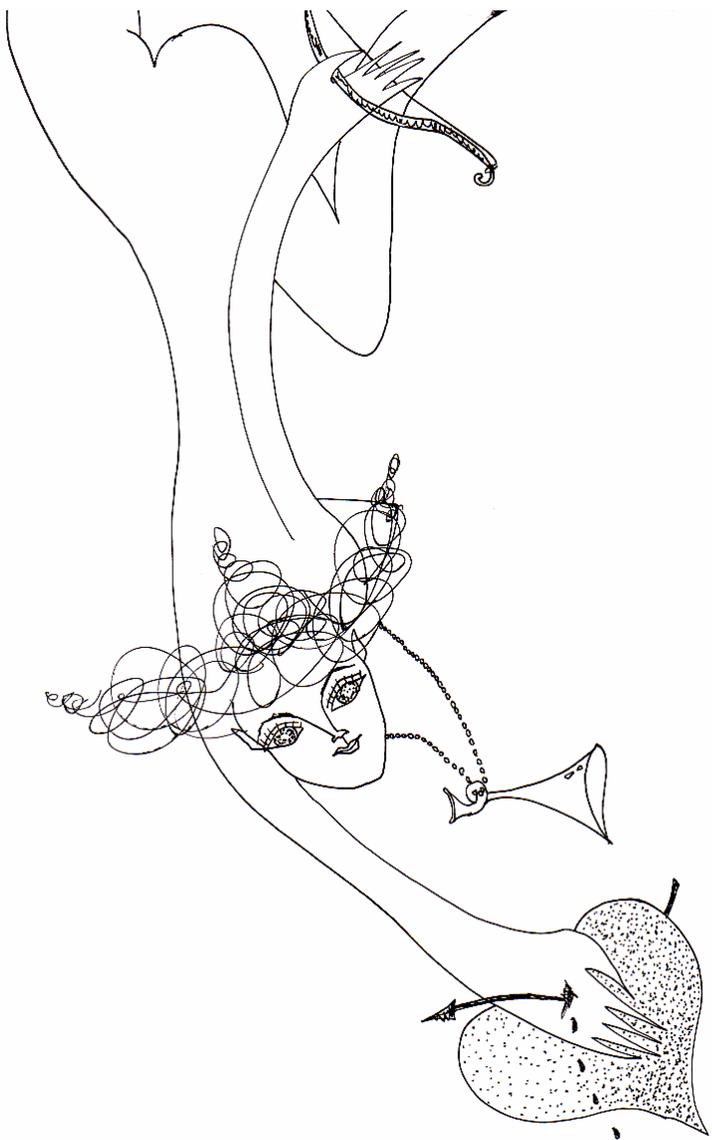
近くで開催されていたから。

たったそれだけの理由だった。

何百枚も描いた裸婦は、

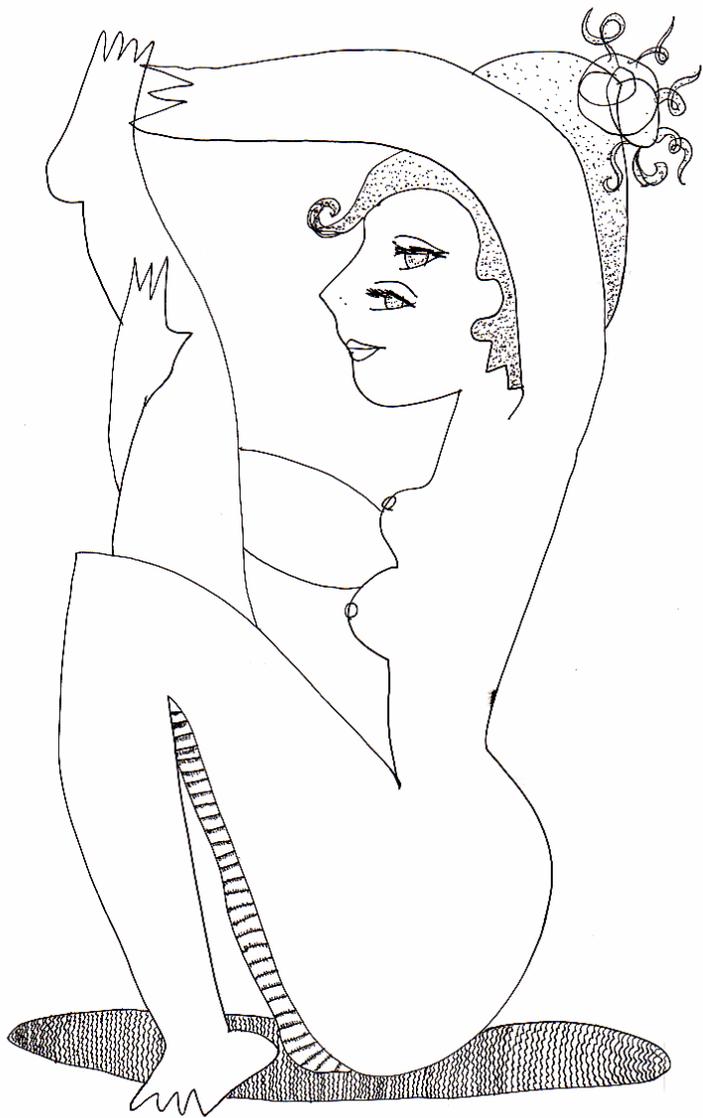
天使や仏様に描きかえられて、

私から旅立ってゆく。



休憩時間

モデルさんは、
ストレッチしていることが多い。
アーティストに話しかけたりしない。
独りぽっちで、
伸びたり縮んだりを繰り返して
次のポーズを考えたり
体を冷やささないようにしたりする。
そんなポーズを
描いているアタシがいる。





今度は衣装を手に持って

立ち姿の美しい彼女は、
ほんの少し足を開いて、
体を安定させる。

手を何処に置こうか考えて、
その後、顔の位置を固定する。
そうやって、

彼女はまた、

男ばかりのクロッキー会場で
自分の裸を描かせては
新しい服を一枚買うのだった。

ラッパを吹く天使

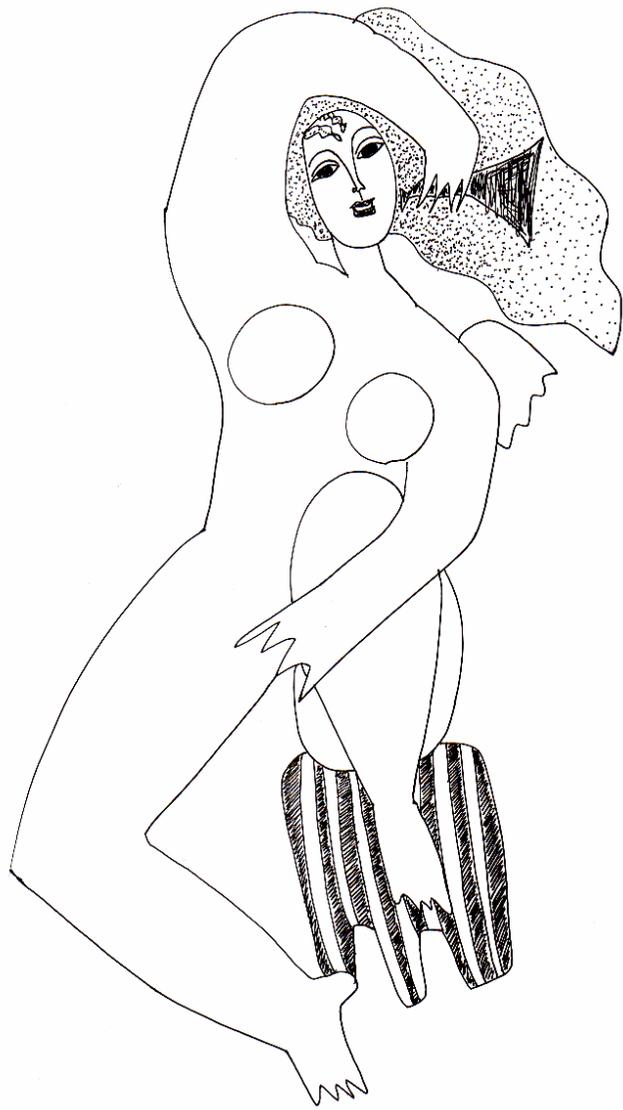
ひざを抱えた彼女は、
もう一つの手を
頭の上に乗せる。
首を少しかしげて
時間を止める。

私には見える。

彼女の手には金のラッパ、

背中には

小さな羽根がはえているのが。





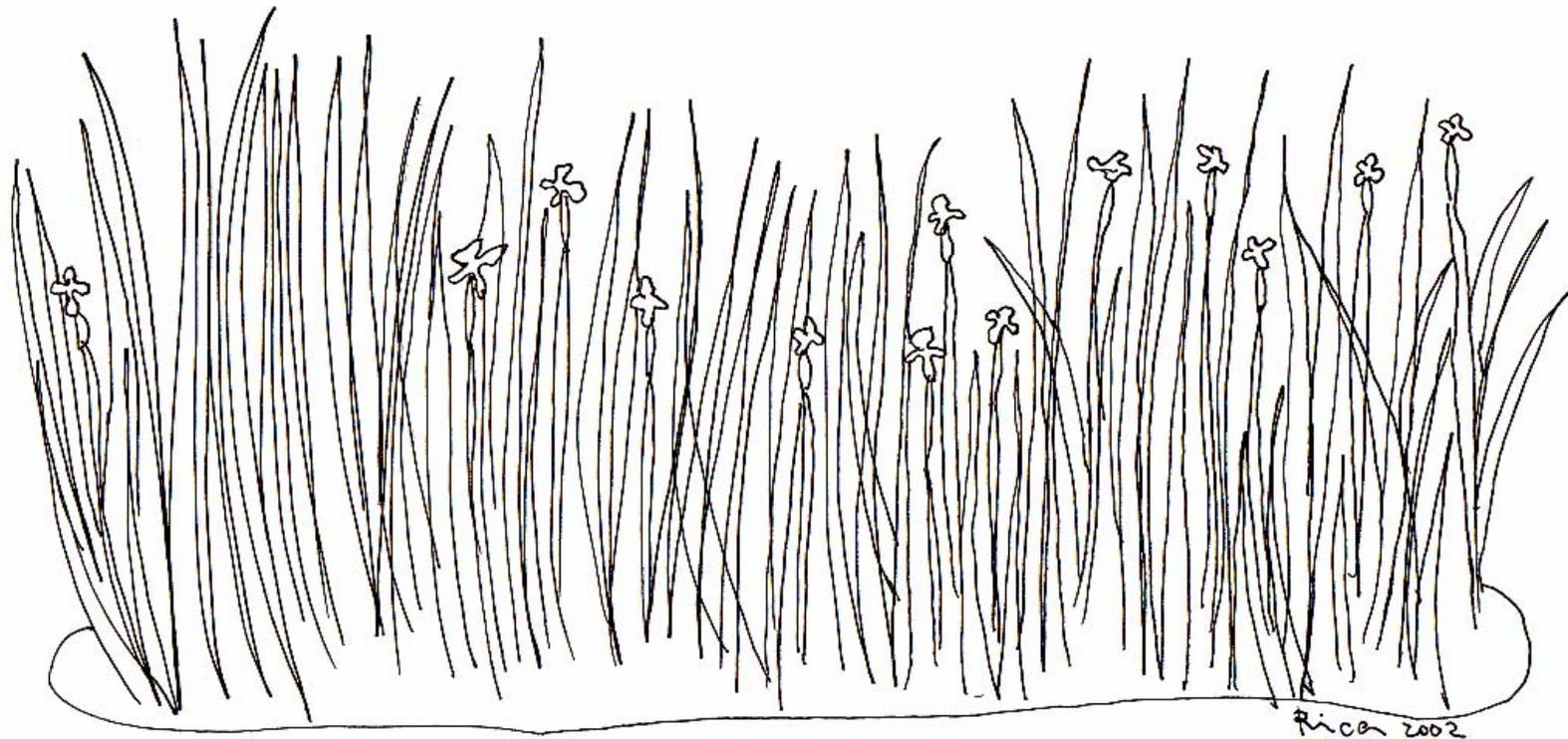
バ
リ

(C) Rica Ojara
素描-III イラストレーション



Rica
2002

(C) Rica Ojara
素材Ⅱ イラストレーション



バリ島の常宿『プリパディゾート』滞在中に描いた植物画です。2002年の作品

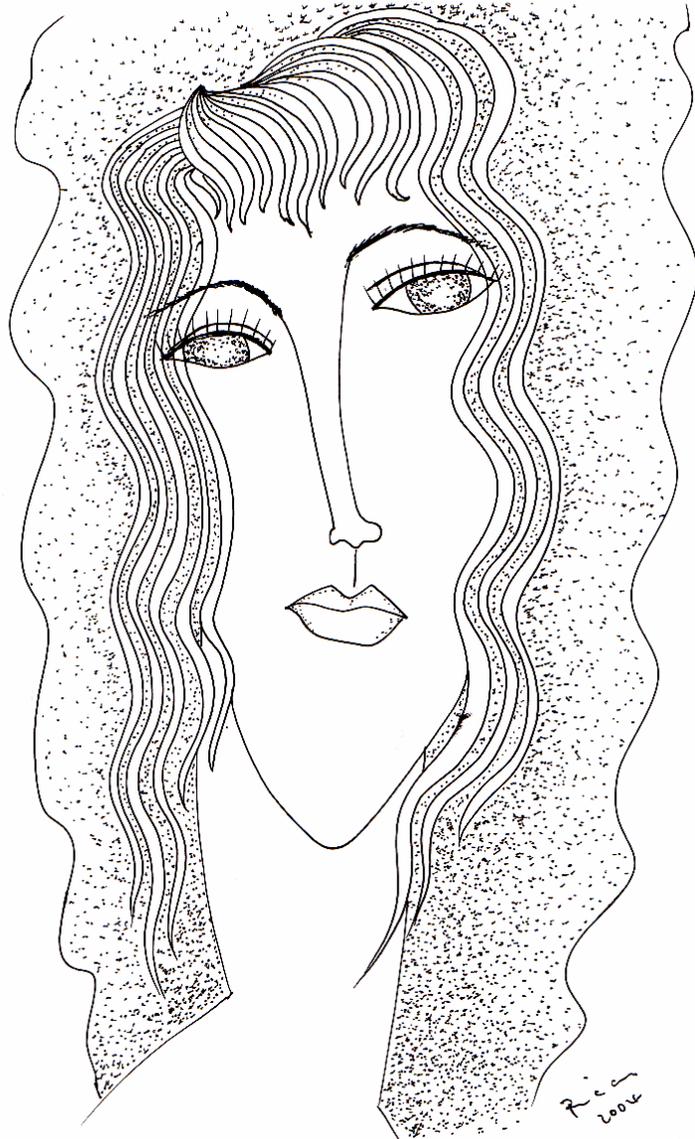


(C) Rica Ojara
素材集-II イラストレーション

踊り子の絵



最初の画集『素描』出版の直後に描いた作品。
まだ、線が安定していないけど、
私らしさは出てきていると思う。
この絵を探すために、
バリから持ち帰ったスケッチの箱を開くと
踊り子の衣装のスケッチや、バリの風景を描いた、
小さい作品が沢山出てくる。
いつか本にしたいと思っているけど、
バリはもう、遠いところにある。



(C) Rica Ojara
素描-II イラストレーション

おんなのこ
イラストレーション

待ち時間

予定より少し早めに着いて
そうして、街を見ている。
新しい服も、
新しいバッグも、
昨日少し明るくした髪も
なんかウキウキして、
あの人を待つ。
女というのは、
全く、
その繰り返しなのである。



免許の書換え

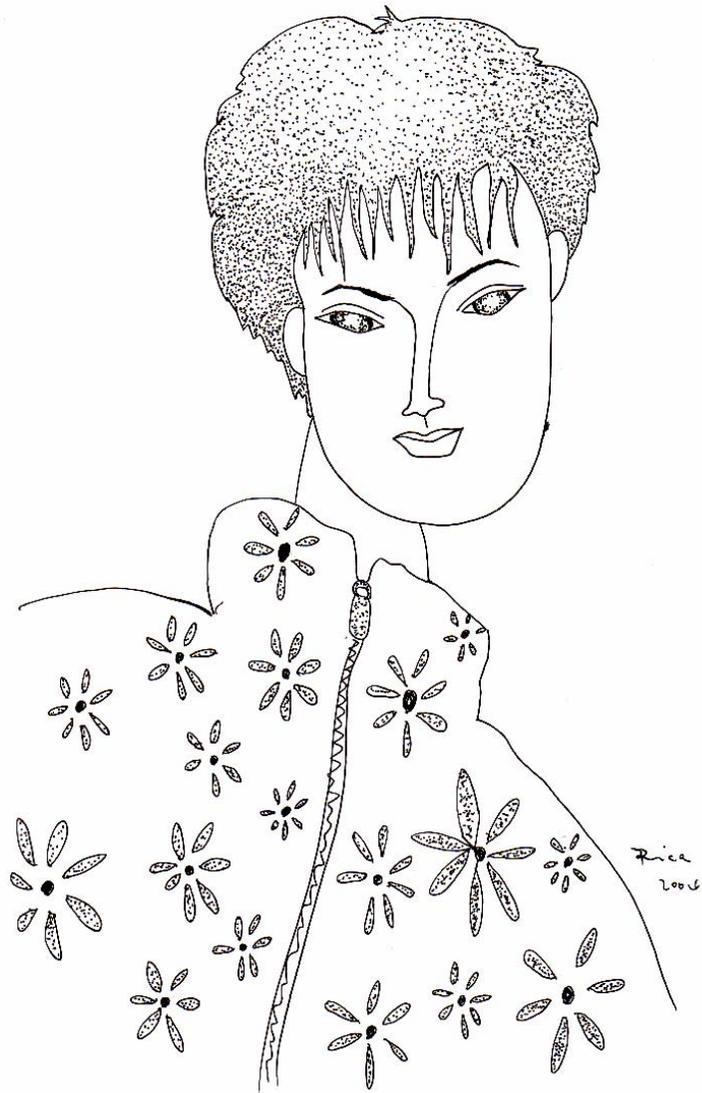


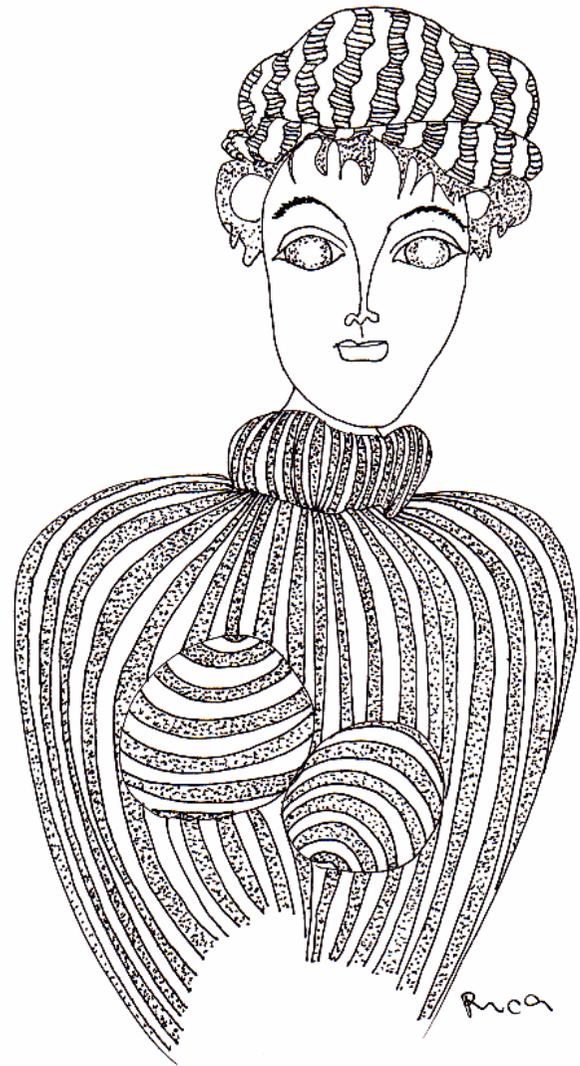
免許の書き換えというのは、
随分と待たされる。
そんな間にも、
女は描かれてゆく。
花を頭に乗せたり、
洋服に模様を入れられたりして
時間は潰されてゆく。
『早くしてよね』
完成したばかりの彼女が
係りのオヤジに催促してくれた。

ボーイッシュ

小学生だというのに、
私より大きい彼女は
キリリとした顔で、学校の話をする。

部活の事だとか、センセイの話したとか、
新しく出来た友達のことなんかを。
そうして、今度モデルをやって欲しいので、
髪を伸ばしてくれないかなどと、
アタシに頼まれたりもしている。





カボチャの女

今度は帽子を被った女にしよう。

そう思って、帽子を描く。

帽子には、タートルのセーターがいい。

今度は、セーターを着せる。

そうすると、彼女は、

カボチャを着ているようになり、

アタシを見つめるのであった。

『ごめんね。』

次は、もう少し気の利いた服にするからね。』

そう言うとき、

彼女は少し、嬉しそうだった。

瞬間表現

『どんな絵が売れるのか？』

帰国した私は、売れる絵の研究を始める。

『瞬間表現の優れた作品が欲しい』

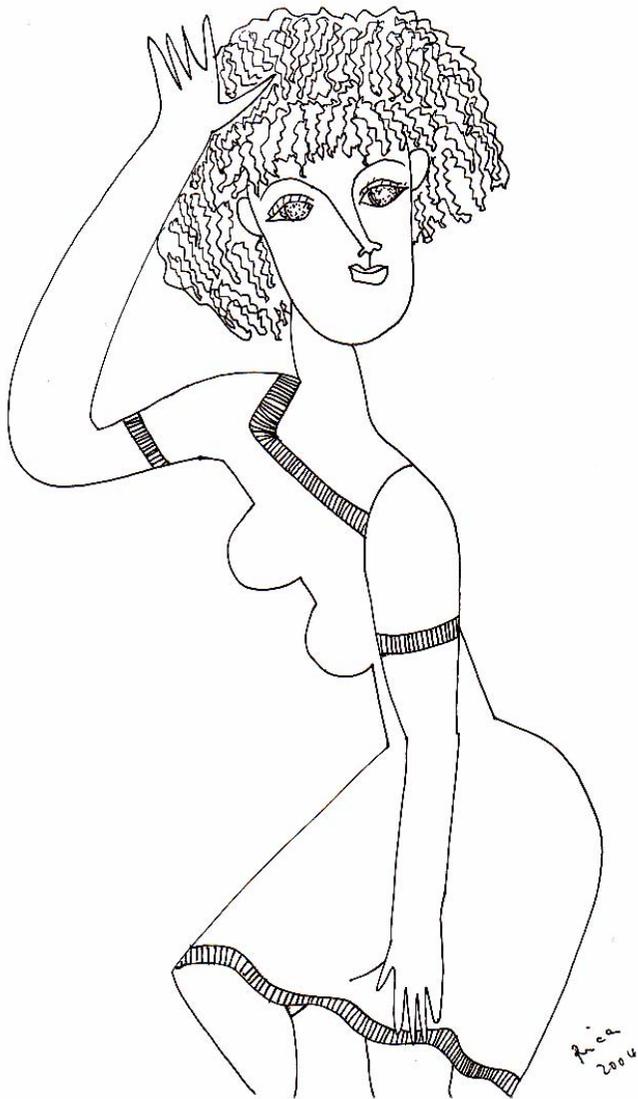
収集家の彼は、私にそう教えてくれた。

瞬間表現かあ。俳句みたいだぜ。

『瞬間を探す旅に出よう。』

自分探しの旅から帰ると、今度は瞬間探しの旅。
ワクワクするぜ。

旅をし続けている私は、幸せ者である。





風が吹いて

女は風が吹くと、どうなるのか？

そうして、風に吹かれた女を描いてみる。

感動がないよなあ。

なごご、

俳句のキーワードは、

作品作りの中に入り込んでくる。

金魚鉢を手に持った、

美しい女の日本画のことを思い出す。

余りにも遠くにあるその絵を思い出して、

『もっと描こう』

そんな風が私の中にそよぎこんだ。

色を塗る予定の女

雑誌の表紙用に作られたこの絵は、
結局使わないことになった。
そんなもんで、

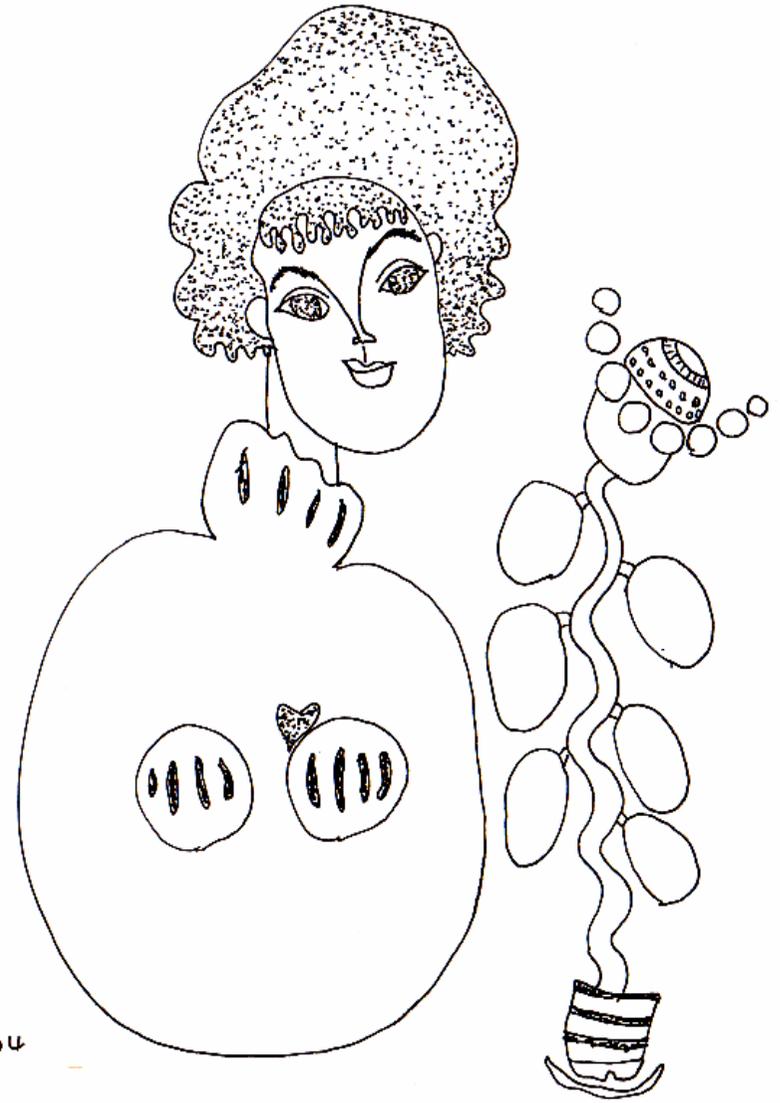
色を塗る予定だったから、
コントラストがいま一つ足りない。

サラサラと描かれたこの絵の中には、
『何の迷いもない線』がいた。

手に入れたモノがゲットできる運は継続中。



何処へ



R
2004

瞬間表現というゴールは、思いのほか遠い。
ヒラウリを見つめる女は、
全く動かない。
ハサミで切り取る姿がいいのか、
花瓶に活ける姿ならいいのか、
だからそれが、何なんだよ。
という感じで、
行く先さえ見つけられないまま
旅は続いている。

ボールペンの女

手が太すぎたり、
オツパイが垂れすぎたり、
片方の手は短すぎたり、
ボールペンの女は、
いつも少しゆがんでしまう。
そうして、エンピツで下絵を描こうかとか、
いい作品をトレースしようか
また同じ場所で迷っている私がいる。



池田満寿夫展

マスコを見に行く。

自転車に乗った女の

ポストカードをもらう。

『この程度の絵、千ヨイわ。』

早速、自転車に乗る女を描く。

アタシの絵の方がカワイイ。



女を待たせる男

そんな男は

信用しちゃいけない。

そんな男にばかり

惚れてしまう

彼女は、

ツイテない。

アタシは、

いつも彼女に

『そんな男、辞め

ちゃいなよ』と

教えてあげるけ

ど

彼女は

『それでもいいとい

の』って言って、ま

た待たされてい

る。





希望

彼女は、うまそうに
タバコをプカリとふいて、
絵を描いているアタシを見る。
そうして、

『禁煙しなくちゃね』
などと、

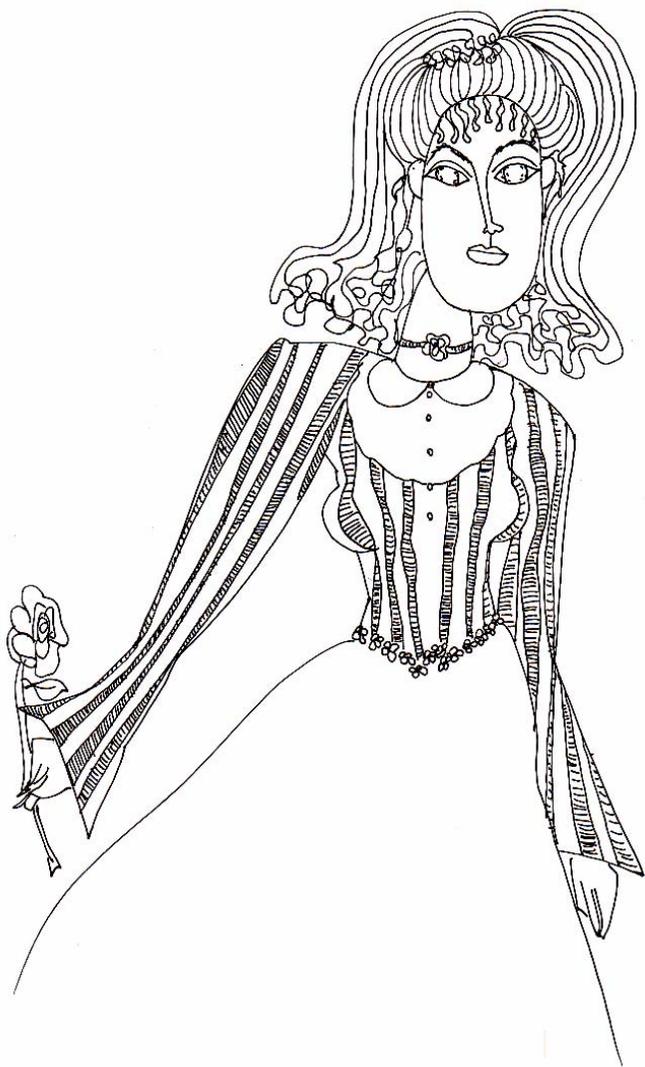
近未来の抱負を
アタシに話してくれる。
夢の実現は遠そうだ。

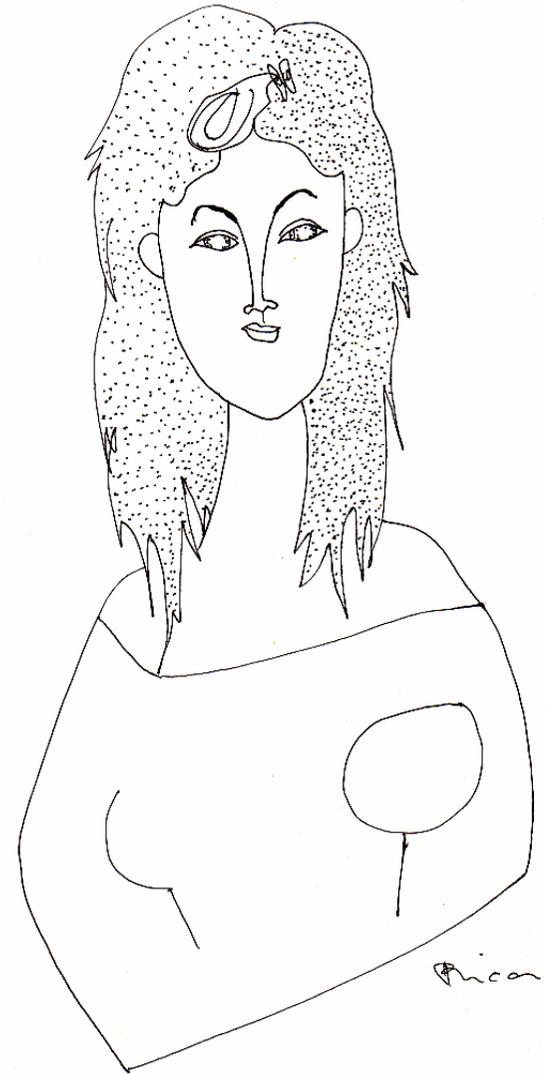
モデルがいてもいなくても

ピカツは、モデルがいてもいなくても
絵を描き続けられたのだという。

絵なんて、何時間でも描いていられる。
私は絵を描くときに悩んだりしない。
絵がまだ下手だということを除けば、
悪くない資質だと思っ。

描き続けているうちに、
多少は上手くなるはずだからである。





M嬢

バリーで働く彼女は、
よくわたしのモデルをしてくれた。
ヌードも、キモノも、
なんでも、協力してくれて、
わたしのスケッチには、
彼女の絵が溢れている。

彼女は、バリーに住み、
夢を掴んだのだろうか？
それとも、また新しい夢を
探しはじめたのだろうか？

カリグラフィペン

カリグラフィのペンが出てくる。
もう十年以上も前の品だと思う。
ペン先を洗って、

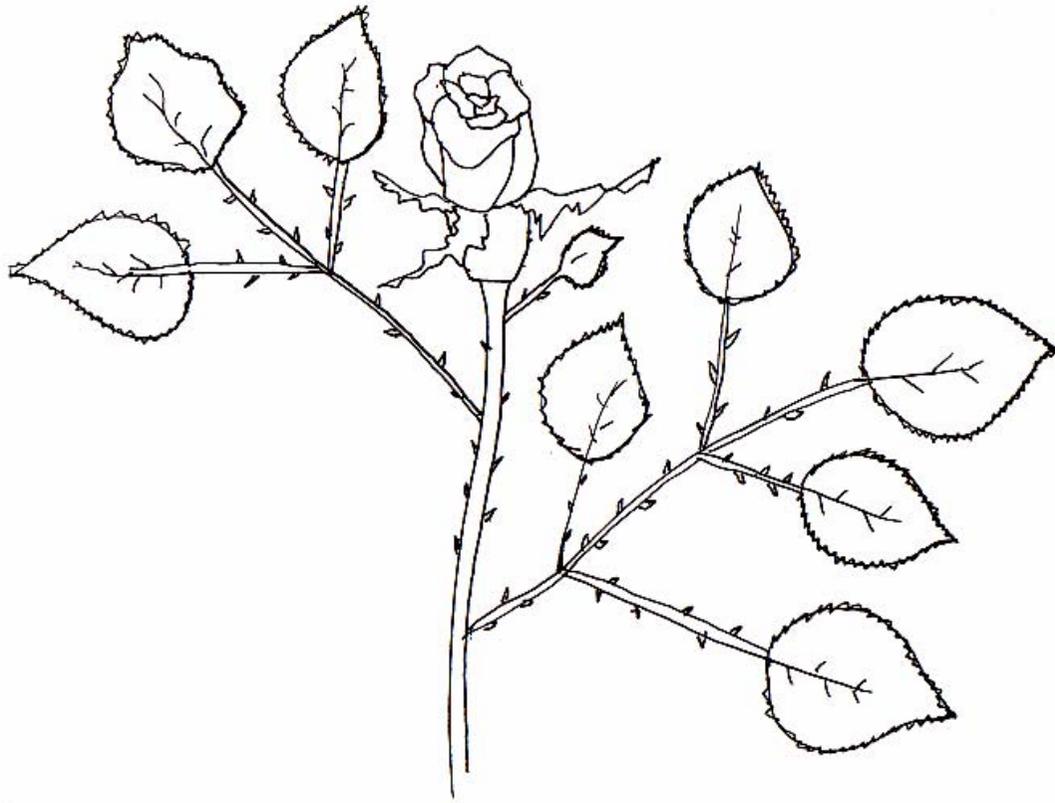
インクを入れてみる。

美しい色は

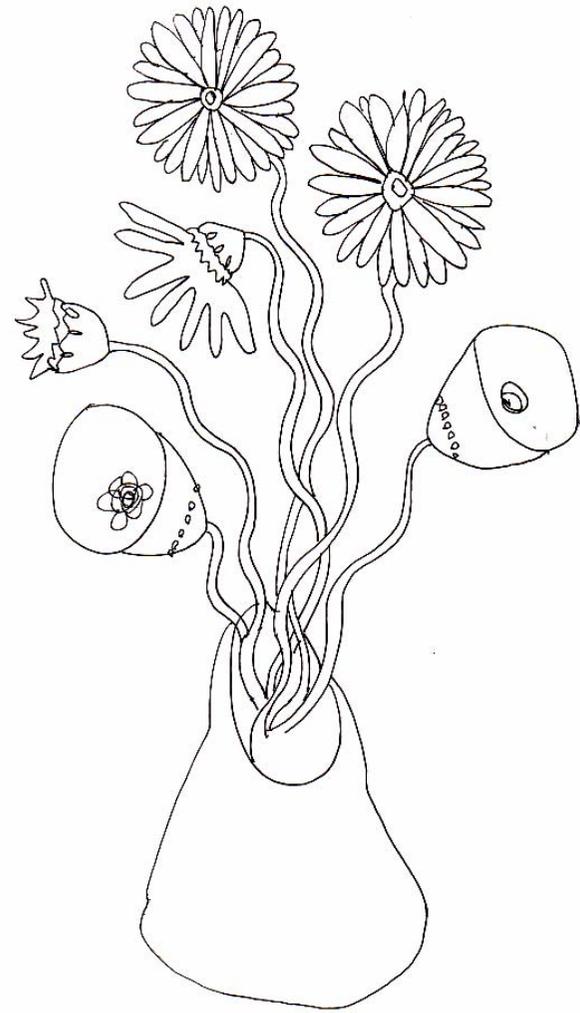
平らなペン先からあふれ出てきて、
コピー用紙がブルーになるまで、

描画し続けるわたしがいる。





花や猫



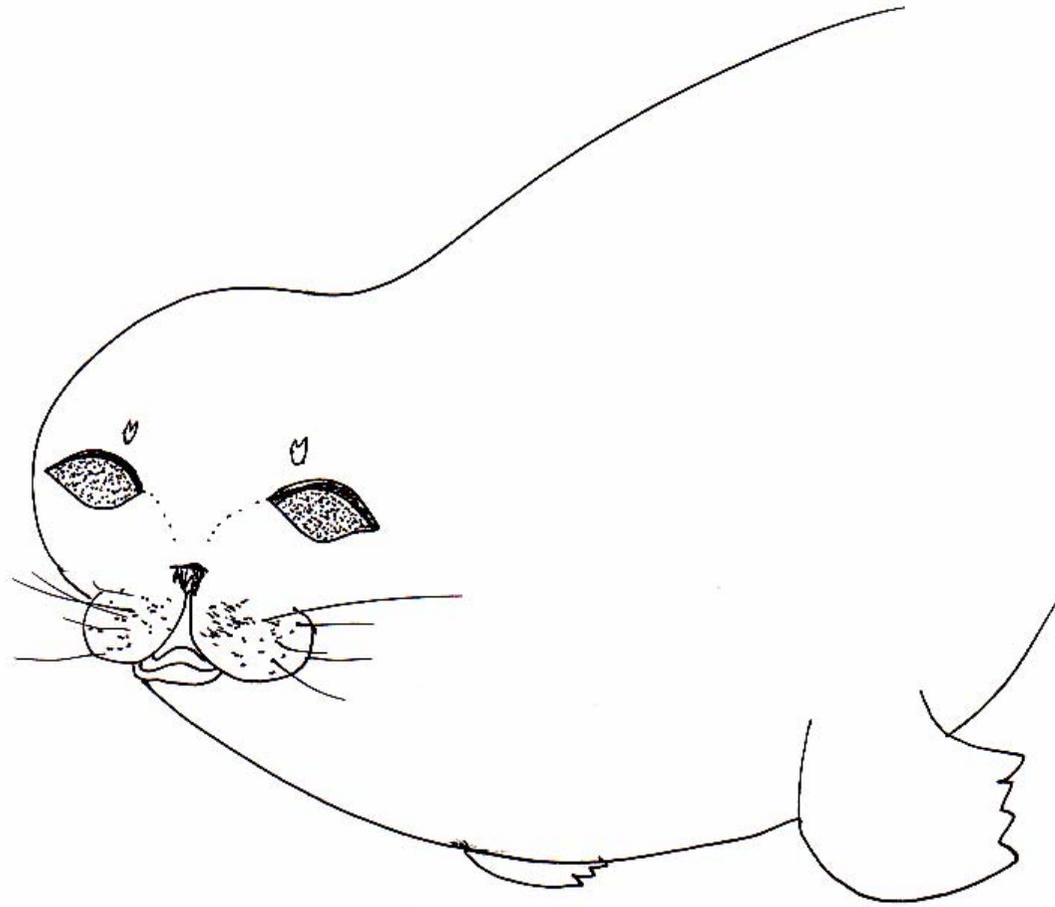
(C) Rica Ojara
素描-II イラストレーション



(C) Rica Ojara
素朴-II イラストレーション



(C) Rica Ojara
素朴-II イラストレーション



花を持った天使

この絵は、線だけで作られていて、点描や黒い部分を入れなかったから、なんか、物足りないって思わされる。

美しく描けたので、

色でも塗ろうと思ったのかもしれない。

そのままファイルされて、

そのまま、画集に入れられてしまう。

そうして、

花の絵というのは、

まだまだ描けずにいると思わされる。



絵に対する欲



人物の絵は、だいぶ安定してきている。
もう少し、背景やら花などを加えて
絵を華やかにしたい。
例えば、ストーリー性を持たせたり、
瞬間をもつと表現したいとか、
そういうための、小道具として、
他のタイプの絵も描けるようになりたい。
いつのまにか、
花の写真集を広げている私がいる。

園芸療法

私がかウンセリングの勉強をしていたときに、一番興味を持ったのは、園芸療法という治療法。園芸活動を通して、患者さんの性格の問題点を気づかせたり、行動を変えていくような治療法で、日本ではまだ新しい。

そんなもんで、家には、薬用植物の本というのが何冊かある。今日は、それを描いてみる。
薬草パワーで、なんとなく元気になる。





ガーベラの女

ガーベラの絵というのは、

何時まで経っても

全く描けないでいる。

絵が小さくなること、

ガーベラに見えなくもないのだが、

大きい絵に引き伸ばすと、

稚拙なところだけが目立ってしまう。

春だから、ガーベラを一本買ってきて、

いろいろな角度から

スケッチしてみようと思う。

ウノアキラのイラストレーション

彼のポスター集というのを見る。

なんて美しいイラストなんだろう。

なんていう構図なんだろう。

目指すべき線が見つかったという気がした。

線や点が作り上げる作品を

もつともつと沢山作って

自分の世界が広げられるといいと思う。

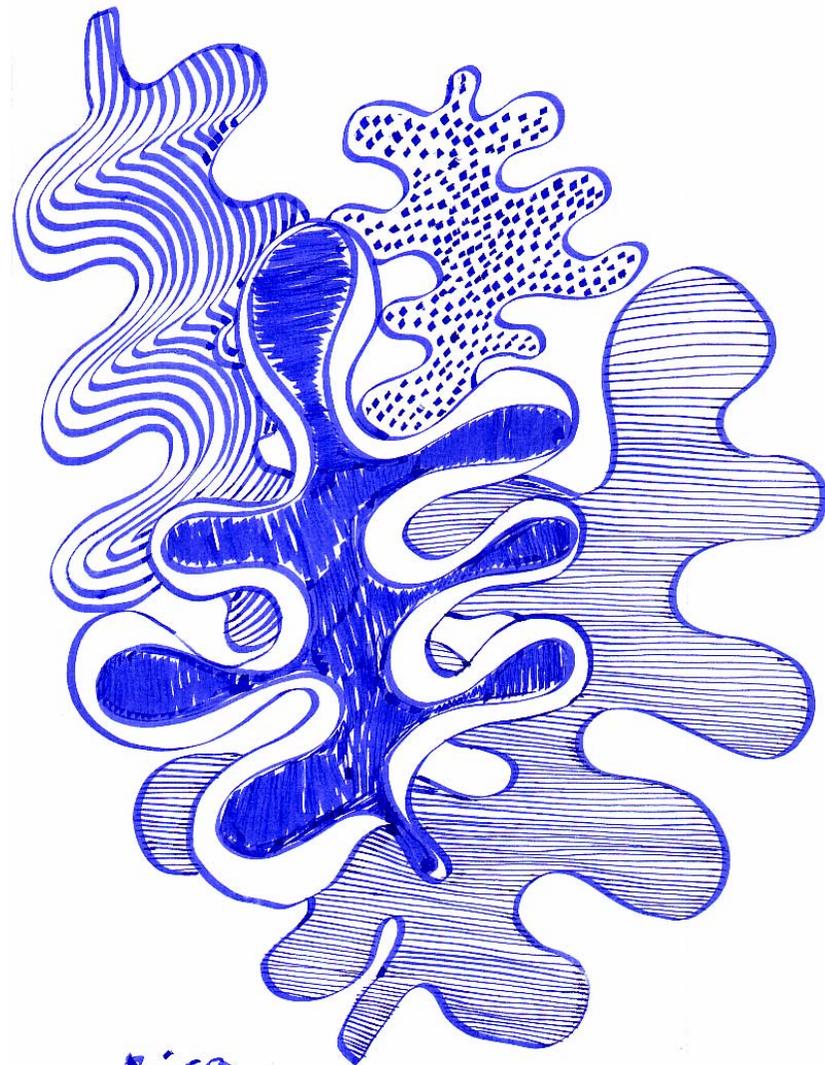
もう少し、花や動物の絵を

描けるようになりたい。

彼の画集を開くと、

イロイロな思いがあふれてくる。





Rica
2004

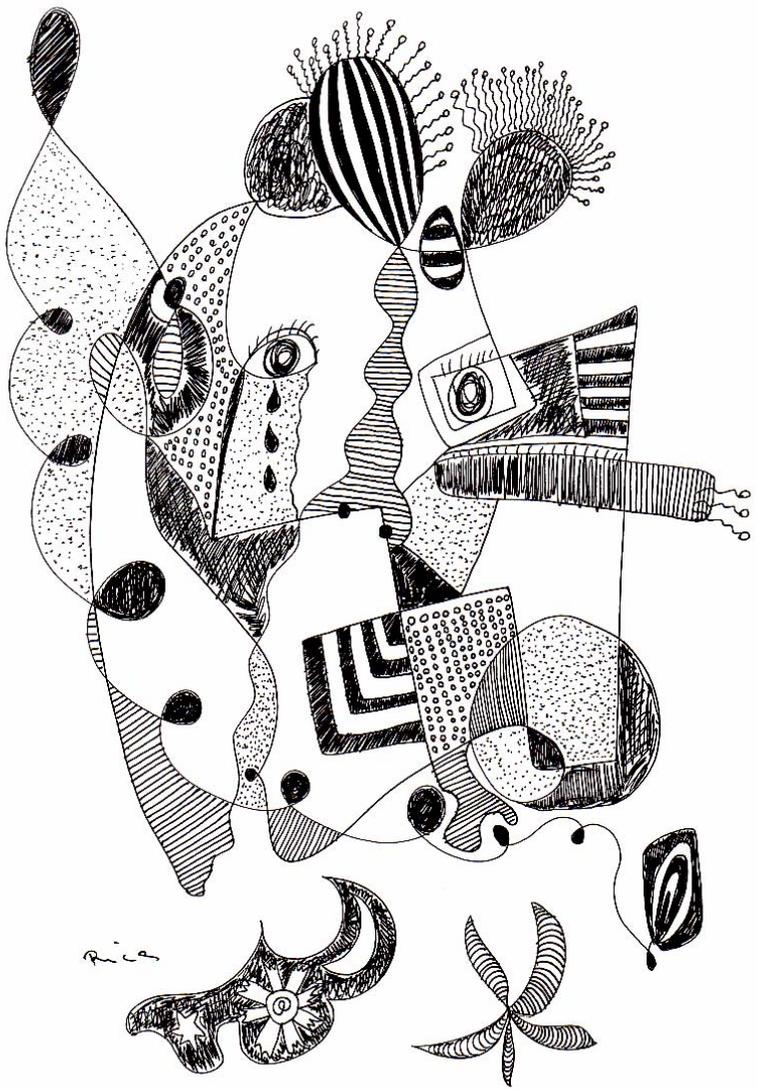
抽
象

らくがき

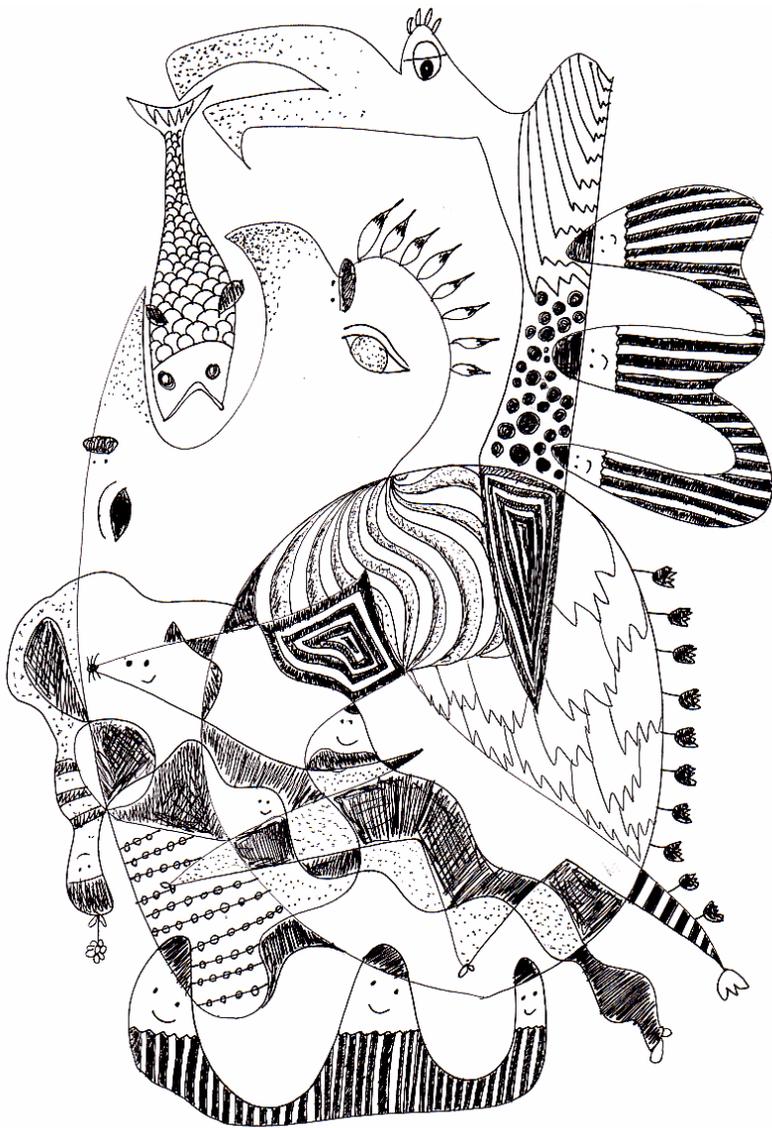
らくがきを描くというのは、
なんだか楽しいものである。
でも、意識してらくがきを描くというのは、
なんかばかっている。

その上に、飽きてくる。
ゲージツというのは奥深い。

そうして、この絵は、
考える前に出来上がっていて
それはそれで、
ある種の才能だと思えてくる。



(C) Rica Ojara
素材Ⅱ イラストレーション



〜口好き

私〜口好きだという話は、
今まであまり出てこなかった。
どちらかというと、
ピカソや、モディリアーニの話ばかりである。
それでも、〜口は、
私の作品の中に入ってくる。
秘密にしていたというわけではない。
話すチャンスが
無かったというだけのことなのである。

帽子を被った女

ボールペンを真っ直ぐに握ると、
『エイっ』と線を引く。
手を『グン、グン、グン』
と前後にすると、

なんだかオツパイみたいな線になっていて、
この絵は、女の絵にしようかなどと思う。
そうして、帽子や髪の毛や、
コーヒークップなんかを加えると、
お喋りをはじめめる女がそこにいた。



鳩を追いかける猫



バリ島の家には、ガーデンがあり、
鳩がよく来てくれた。
猫は、いつも鳩を狙っては、
鳩に逃げられていたっけ。
女を描いたら、
猫を描かなくちゃ。
猫を描いたら、花を描かなくちゃ。
画家は画家で、
結構忙しい。

おわりに

最後まで読んでくださって、ありがとうございます。ございました。

私は、画家志望で、現在、北千住にあるアトリエで、絵を描き続けています。

『気軽に飾れて、見る度にホッとできる作品作り』というのを目指しており、電子画集による作品の配信は、自分の作品発表の場、いわゆる、私の『個展』と考えています。

まず、画集を見ていただいて、気に入った作品がありましたら、是非、ご自宅のプリンタで印刷して、アウトプットしてみてください。

そうして、お手持ちの額などに入れて、チヨコッと飾ってみてください。身近な所に、絵がポッとあるだけで、毎日が、ぐっと、楽しくなります。

私の作品が好きで、身近に置いて楽しみたいという方が一人でもいれば、私も、それが嬉しいのです。

もし、私のイラストが気に入って、実物を見てみたいとか、買いたいという方は、是非、北千佳のアトリイにお越し下さい。毎日増え続けているイロイロなタイプの作品を、大量に見ることが可能です。

また、遠くて来れないのだけれど、欲しい作品があるという方は、メールにてご相談下さい。

この画集の作品はコピー用紙に描いているため、あまり耐久性がありません。上等な水彩紙などに描きなおして、販売させて頂きたいと思えます。(コピー用紙の作品は、日焼けに弱く、すぐに紙が焼けてしまうのです。水彩紙であれば、何年も楽しむことが可能です。)

お値段は、サイズにもよりますが、一枚1万円前後からお引き受けします。(B4よりも少し小さい程度の紙を予定しています。)(ご要望があれば、色もお塗りします。(税込み・送料込み価格です。額縁は含まれていません。)

お申し込みは、メールにてお願いします。

rica@ojara.net

私は、画家志望ですが、絵というのは、そんなに
沢山売れるというものではありません。

今は、ほとんど収入のない状態で、絵を描き続
けています。経済状態(預金の残高)が許す限り、
絵を描き続け、自分の才能を伸ばしたいと思っ
ています。今後、あと7千枚程度の制作を目標にし、
芽が出なければ、画家になるのは諦めようと思っ
ています。

最近は、ご好意や、ネットで私の作品を知り、
実物を購入してくださる方も増えてきます。
本当にありがとうございます。お心遣い、感謝し
ます。まだまだ駆け出しですけど、より良い作品
が作れますよう、精進したいと思っています。

この画集を見た方で、本物の作品を身近に置
いてみたいという方は、お気軽にご連絡下さい。

安い値段でも絵が一枚売れると、また絵を描
ける時間が少し長くなるので、私も、是非作品を
販売し、収益を得て、また、画材を仕入れ、また、
新しい作品を作りたいのです。

もし、絵が売れなければ、派遣などのアルバイトをして、収入を得て、余った時間に絵を描くということになります。

できれば、絵から離れない場所で、制作活動に関わりながら生活費を捻出したいと考えています。

作品のレベルは、発展途上の部分もありますけど、パソコンでみるのとは、全く違う『本物のよさ』というのをお伝えできると信じています。

また、本の表紙や挿絵などを描いて欲しいという方がいらっしやいましたら、デジタルデータに加えたイラスト等のご相談もお受けしています。

自費出版などの、デジタル印刷機にかけられる形で、データ入稿も可能です。

どうぞよろしくお願いします。

二〇〇〇四年四月

おじやら
りか

電子画集による作品発表について

今までの芸術家の作品発表は、個展などを開いて、お客様に来てもらうというのが一般的でした。

個展を開くには金がかかります。

忙しい知人たちに、『ギンザの●●画廊で個展を開くから来てください。』などというのも、なんだか、申し訳なく思います。

そうして、そのワリには、作品はあまり売れなかったとか、お金ばかりかかったとか、アーティストが負担ばかりしているという結果になっています。

それが現実というものなのです。

私の場合、自宅とアトリエが別になっており、作品を常時展示したり、膨大な作品のファイルを見ていただいたりすることができるので、わざわざ、画廊を借りて個展を開いたりすることも必要ないのです。

もちろん、将来、そういう活動もするかもしれませんが、今は、金銭的にも難しいのです。

バリ島に住んでいたこともあり、インターネット時代の、作品の発表方法として、『電子画集というスタイルで、作品を見ていただくというのはどうだろうか？』という、試行錯誤的にスタートした電子本作りですが、本を作る作業というのは、本当に楽しい作業です。

しかも、私の場合は自分で作れるので、電子本を公開するのに、お金は全くかからないのです。

収益の事を心配して、画集は有料にしたらどうかとアドヴァイスしてくださる方もいますけど、本は、有料にすると、十冊程度しか売れません。

無料で公開すると、千人以上の方に見ただけなのです。

個展を開いたからといって、千人の方に見ただけとは限りません。

電子画集の出版は、私の個展なのでですから、十冊しか売れない、有料配布にこだわっているよりも、千人の方に見ていただけるほうが、私には価値があるのです。

また、電子本は、身近なソフトで、比較的簡単に作成できます。私の画集を通して、多くの、発表したい何かがある、アーティストや、作家さん、詩人、俳人などの方が、電子本という新しいメディアに、気軽に親しんでいただければいいなと思っています。

発信できる何かを持っている人は、発信し続けるべきだし、今は、そういう場所があるのです。

多くの方に、電子本に親しんでいただき、才能のある方が、電子本を出版することで、それぞれの夢の実現が近づく日が来ると信じています。



(C) Rica Ojara
素描-II イラストレーション

おじゃら、ねつこの本



電子画集『素描——イラストレーション』

ネット配信版 フリー

CD-ROM版 千円

発行 二〇〇四年四月

イラストと文 おじゃらりか

発行者 小山田 理花

発行所 有限会社 おじゃら

〒一三〇-〇〇三四

東京都足立区千住四-七-六

E-Mail: rica@ojara.net

<http://www.ojara.net>

ISBN4-901941-15-1 C-0871¥1000E

© おじゃらりか

お気づきの個所がございましたら、ご面倒様でも、rica@ojara.netにてお知らせください。

よろしくお願い致します。

おじやう、ねつこの他の本



CD-ROM版『おじやうの壺』

価格 三千円

*** 収録作品 ***

エッセイ『バリ島★ぶうげんびりあ』

電子画集『素描』、『素描Ⅱ イラストレーション』

バティックで作る服(47Mと版)

電子本、『自前出版』してみませんか？

電子俳句集『あとりえにて』『イカスはいく天国』

電子旅行記『日付のある写真集』

電子俳句集『おじやうの吹寄せ投句集』

電子銅版画集『CAMEL WORKS』

電子画集『バス停は、こちらでございませす』

女性アーティストバリ島、セワティメンバーによる、初のグループ展

*** おまけ ***

召しませブックカバー

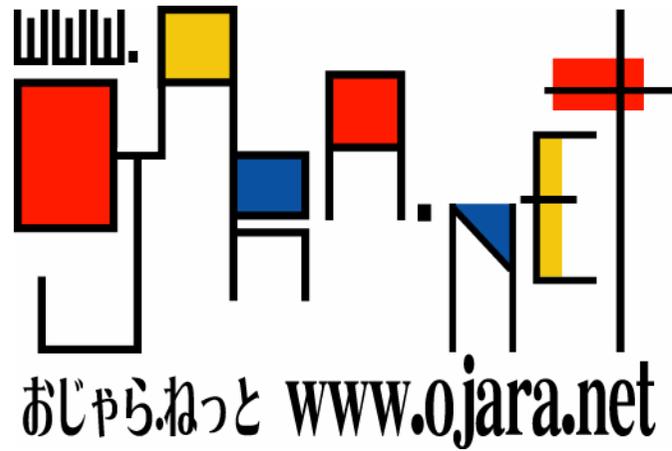
おじやうのプロモーションビデオ

昔の RYCA'S BAR

オリジナルカレンダー



おじやう執筆・編集の本が全部収録されています。



おじやら.ねっと www.ojara.net

ISBN4-901941-15-1 C0871 ¥1000E